

基本方針

- ① 紙管製品製造業界の関連情報を収集し配布する
- ② 組合員企業の生産、販売、労務状況の調査を行う
- ③ 紙管製品製造業者の組合員への勧誘を行う
- ④ 地球環境の保全に関する諸事業を実施する
- ⑤ 紙管製品製造に伴う各種研究会等を実施する



A HAPPY NEW YEAR

新年あけましておめでとございます。

二〇〇四年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員、理事、そして役員の皆様方におかれましては、ご健勝でよき新年をお迎えの事と存じます。旧年中は、組合運営に皆様方の多大なご協力ご支援を頂き誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

わが国経済は一部には明るい兆しも見受けられますが、バブル崩壊後から続く資産デフレ、止まらない物価デフレ等、企業収益に与える影響は大きく、また日本社会の抱える構造的な要因もあり、依然として中堅中小企業にとって厳しい状況が続くと予想されます。

大手製紙各社では、当三月期決算は空前の利益回復が予測される中にあって、原材料供給メーカーからは依然として、アジア、中国地域の旺盛な古紙需要による、古紙高騰を理由に昨年初頭二月、そして十一月と二度に及ぶ大幅な価格値上げが実施され昨年は厳しい年でありました。

当業界の今年の課題は、昨年の二回に及ぶ紙管原紙の大幅価格修正がなされたことに対して、紙管製品への価格転換が殆ど出来ることなく越年したことであります。

「製品価格は業界の財産だ」を念頭に置き、需要家の皆様への安定供給をはかるべく、再生産可能な範囲の価格修正をお願いし、適正価格受注への努力が最大の課題ではないでしょうか。

しかしながら、我々はこうした厳しい現実を前にして逡巡することなく企業の発展をかけ、新しい時代に対応する競争力の強化、スピーディな意思決定と環境変化への対応に努力を傾注することが必要であります。

さて、デフレ時代に業界として存続するためには、技術革新、生産革新による付加価値の追求が言われる中、当組合の技術開発委員が「改善」をテーマに、昨年は名古屋にて「トヨタ生産方式について」全国合同研修会を開催し、多数の皆様の参加を頂き盛大な研修会となりました。

また、青年部会の活動も軌道に乗り、今春には「紙管用語集」が完成・発刊されるよう期待しております。微力ではございますが、業界発展の為に努力致しますので本年も組合員皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年の組合員各位のご繁栄と、ご健勝を心より祈念致します。

所感

理事長 竹本 實生 (日本紙管工業株式会社)



TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2004
TOKYO PACK 2004
OCT. 5-9, 2004
TOKYO BIG SIGHT



TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION
TOKYO PACK

テーマ	包装が変わる！未来が見える！
会期	2004年10月5日(火)～10月9日(土) 5日
会場	東京ビッグサイト 東ホール全館
目的	包装資材、包装機械から包材加工機械、食品機械、関連機器類、環境対応機械、物流機器類に至る生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、商談や交流および包装の最新情報発信の場として、国際的な視野に立った社会の発展に資することを目的とする。
出品内容	包装資材・包装機械・包材加工機械・食品機械・包装関連機械・環境関連機械・MH物流機器・海外出品

副理事長 横田 靖啓

三協紙業株式会社 代表取締役

平成十六年の新春を迎え心からお喜び申し上げます。

年頭にあたり所感を申し上げますとご挨拶と致します。

昨年の日本経済は、全体の流れとしてバブル崩壊後の失われた十年ないし十五年と言うフレーズが、そのまま失われた二十年、三十年とずるずる時を刻みかねないと誰しもが感じていたところに株価が反騰して、久しぶりに一万円台を回復したこともあって、ほぼ諦めかけていた心に、少しは日本経済も捨てたものではないという見直しの感覚を与えてくれたようです。

しかし、一方ひるがえって我が紙管業界はよく言われるように世間の景気が良くなってから、半年から一年は反映するのが遅れると言われていますが、そういうこと以上に今気がかりなのは、昨年一年の内に紙管原紙が約十五%も値上がりしたことです。当初の約5%の値上げについても、全くと言って良いほど紙管製品への価格転嫁が出来なかったわけで、トータルで約十五%ということになれば、リストラを初めとする企業努力も限界でコスト吸収は不可能な状況と言えるでしょう。

新しい年を迎えた今、我々としてはこの価格転嫁がどこまで出来るかに我が業界の行く末が関わっているといっても過言ではないでしょうし、組合員全

員の価格修正への意思と行動力がどこまであるかということに成否がかかっていると言えるでしょう。このような極めて厳しく困難な事態のときこそ組合員一致協力の姿勢が必要だと思います。

最後になりましたが、本年も組合員各位のなご一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

副理事長 下畦 正明

西日本紙管株式会社 代表取締役

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、天候も穏やかで、良い年を迎えられた事と存じます。

振り返ってみますと、ここ何年かデフレ経済といわれ、製造業における製品単価の下落は止まるところを知らず、という状況が継続しており、経営状況は年々低下しているのが実情ではないかと思えます。一方、我々の業界では主原料である紙管原紙が昨年二度にわたり値上げされるという事態になり、上と下からのサンドウィッチ状態で、実態は益々厳しいと言わざるを得ません。

組合員の皆様も生産性の向上や、合理化・リストラ等々でコスト低減に取り組まれていると存じますが、製品価格のアップが今年前半の大きな目標ではないかと考えます。

一層の協力関係を保ち、この環境を打破べく行動していきたいと存じます。

今後とも、微力ではありますが、業界・組合の発展のため努力していきたいと考えますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

副理事長 赤柴 勝三

カオル工業株式会社 代表取締役

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中は、組合員の皆様には組合の事業活動に多大な御支援と後協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当紙管業界を取り巻く経済情勢は依然厳しく、ここ三年間需要の減少、原材料の上昇等により、企業の体質は確実に弱まってきています。

しかしながら、近年、全産業界を上げて地球環境負荷を低減させる機運が高まりつつある中で、当業界の紙管製品についてリサイクル性の高さが注目され、一部に他製品から切り換える動きも見られます。これをチャンスと捉え、直面する技術上の諸問題を解決し、価格競争力をつけて、その要請に応えていく努力が必要と考えます。

そして、このような時こそ「夢をもって、積極的に、明るく」取り組む前向きの姿勢が大事なのではないのでしょうか。

本年も微力ではありますが、業界の発展のため力を尽くして参りたいと思えます。

皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

流通業界からの東西所感

魚谷 顕一 氏

旭洋紙バルブ株式会社 理事 副本部長

新年明けましておめでとうございます。

平素は、我々板紙代理店各社に格別のご高配とご支援を賜り、一同心から感謝申し上げます。

昨年、紙管原紙は、原料の高騰を理由に、二度にわたる価格修正をお願いすることになりました。又、秋以降、段ボール原紙が二年ぶりの値上げ、続いて、白板紙・色板紙と板紙全品種の値上げが浸透することとなりました。

これは、製紙メーカーの再編が進むと共に、シェアよりも価格重視・利益重視の方向転換がもたらせた結果であります。

紙管業者の皆様方の製品価格を取り巻く環境は、大変厳しいことは承知してありますが、本年は、皆様方が一丸となり、製品価格修正が達成されることを切に、お祈り申し上げます。

平成十五年度、紙管原紙生産量は三十万ト強と前年並みと思われまます。一方、需要は、再生品の増加・リサイクル化・需要家の海外進出・輸入品の増加等、年々縮小の傾向となっております。

又、製紙メーカーサイドは、古紙の高値横這い・数量確保等不安定要因が当面続くと予想し、原紙価格は強含みで推移すると思われまます。

紙管業界にとっては、本年も需要・コストの両面で引き続き厳しい状況が続く事が想像されます。

我々代理店と致しまして、製紙メーカーと共に、原紙の安定供給及び品質の向上に努め貴業界と一体になって努力していく所存です。

自分達の業界は自分達で守る以外、道は無いと思っています。他産業がそろって中国に目を向けている中、近い将来は別ですが、当面はドメスティックな産業

として、拡大再生産ができるよう、製品の価格見直し、品質の更なるレベルアップが必須であると感じます。

貴組合のより一層の飛躍と、益々のご発展を心からお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

若山 正芳 氏

株式会社文友社 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり全国紙管工業組合並びに関連業界の皆様は、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は私共代理店各社に格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はイラク戦争、SARSの発生、世界を揺るがすテロの拡大などが、私たちの企業活動に大きな影響を与え、「グローバルな経済活動の中の日本」と言うこれからの私たちが避けて通る事のできない大きな命題を再認識する年でありました。中でも中国を主としたアジアとの関係は目を見張るものがありました。

王子製紙は二〇一〇年までに二千億円の中国投資を決定し、ベトナムではマレーシア企業と組んで段ボール工場を建設する。日本ユニパックホールディングも中国・浙江省に合併で段ボール工場を建設、北京市郊外では合併で新聞用紙と書籍用紙の生産を開始するが、設備は白老工場の抄紙機三台を持ち込むと言う。また、中国や台湾・タイなどの古紙需要は活発で、日本の国内価格を上回る価格の成約が続き、これが原紙値上げの要因になりました。古紙原料はもはや国際商品化されたと言っても過言ではありません。

紙管は、需要家の要求度が高く、紙パ業界の加工業の中で最も「もの作り」の基本が重視される業種

の一つで、絶え間無く技術を研鑽と練磨し伝承する必要性のある製造業であります。紙管業界の皆様は努力により、内外の状況が激しく変化する中、この「もの作り」に関する伝統を受け継ぎ、更なる技術開発の意欲を持続させるならば、グローバルな未来にその優位は動かないと思われまます。

私共「流通」も時代の波を受け止め、旧態依然とした構造を変革し、紙管業者様のニーズをすばやく受け止め、又製紙メーカーの動向を正確に把握し、紙管業者様へこれらの様々な情報を伝え、その方向性を提案する事によって流通としての存在感を示せるよう頑張つて参りますので、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご活躍ご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶と致します。

紙管原紙統計表

(数量t・金額百万円)

年 月	生 産	出 荷				月末在庫
		計	販 売		その他	
			数 量	金 額		
平成10年	310,189	307,013	273,260	17,702	33,753	19,992
平成11年	307,670	309,643	274,743	17,460	34,900	18,071
平成12年	313,845	313,200	279,401	17,560	33,799	18,716
平成13年	306,083	300,718	268,677	16,536	32,041	21,837
平成14年	305,995	310,189	273,582	15,952	34,078	19,325
15年7月	27,005	27,635	25,473	1,500	2,162	25,564
8月	22,602	23,448	21,945	1,278	1,503	24,676
9月	25,146	26,171	24,367	1,367	1,804	23,651
10月	28,212	28,848	26,633	1,571	2,215	23,014

日本紙管工業株式会社 取締役 竹本 拓央

新年あけましておめでとうございます。

平成十六年の新年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年は世界的にはSARSの大流行やイラク戦争といった大きな出来事があり、景気の停滞が心配されましたが、昨年中頃よりアメリカを中心にここ近年続いた世界同時デフレ傾向の底打ち、経済回復の兆しがみえ始めている状況下でございます。

日本経済におきましても、長期に及んだデフレ状況から景気の底離れが始まっており緩やかながら経済回復基調にあるように思います。高度経済成長時のような右肩上がりの状況は望めないにしても安定した経済動向が継続する事を祈願致します。

このような状況の中で、とりわけ製紙業界にとりましては、大手製紙各社からの中国・タイ、アジア地区の旺盛な紙需要が続く、紙管原紙供給メーカーからは古紙高騰を背景に、昨年初めそして年末と二度に及ぶ大幅な原紙価格値上げが実施されている厳しい環境で有ります。

私共、紙管業界と致しましては、将来も継続して需要家皆様への安定供給を図るべく、原紙価格の値上げを受け、「再生産可能な価格」の復元に向けて価格修正をお願い申し上げており、現在組合各企業が価格修正に向けて需要家の抵抗を受けながら、価格修正の根拠を説明し最大限の取り組みを致してお

ります。

今後は国内に限らず、グローバル化してきており大競争時代に拍車がかかる時代でも有ります。

このような厳しい環境下でこそ、組合各企業が競争優位を確保し自助努力によって、紙管製品の適正価格を守るような業界協調のもと、業界秩序の維持と業界市場の安定を図るべく強固な業界基盤の構築が必至と考えます。

全国紙管工業組合企業の皆様は勿論、関係各位皆様のご指導、ご鞭撻を仰ぎ、本年を邁進したいと考え尚一層のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げますと共に、関係各位のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。



三協紙業株式会社 企画開発部 佐方 将義

デフレ不況・材料価格高騰・顧客海外移転・中国動向など、業界を取巻く環境は全てがマイナス方向と誰もが痛感する昨今です。

当社は「職人は宝」との社長方針で、安易なリストラをせずに乗り切ろうと毎日が悪戦苦闘です。「止まない雨はない」との励虚しいものの、それでも思わないとやっていけません。

しかし、そんな中だからこそ、改革のチャンスと捉え、動き回ってやろうと考えています。

一体我々は、ここ数十年でどれだけの技術革新・販売革新を遂げてきたのか。材料・製法・管理・物流・販売、全てに渡り、全く新しい方式に挑戦する事を諦めていないか。私は「経営品質」の視点で振り返り、紙管屋としてまだまだやるべき事も、やれる事も沢山あると信じています。

一方、業界に於いては、技術や開発やシステム競争といった、健全な業界競争は減多に目にしません。それなら、紙管価格の市況公開による市場制御・規格統合への再挑戦・競争インフラを構築する為の技術情報誌編纂などを手掛けるのは如何でしょうか。

そういう活動を通じ各社が切磋琢磨してこそ、業界の体力増強になるのではないのでしょうか。従って、我々業界にもやり残した事が沢山あり、当組合の存在は重大な役割を担っていると考えます。

とはいえ当社も他社同様、販売の現場では熾烈な凌ぎを余儀なくされており、改革なき安値販売は将来の負け組との確信を持ち、温故知新「ボーターの競争戦略論」で捌いてゆきます。

紙管屋の将来は、目前の価格対策と経営改革を戦略的に遂行できた企業のみが最後の勝ち組となり、そして業界の将来は、全社が本当の体力をつけてこそ道が開けるのではないのでしょうか。精神論に終始しましたが、当社はそういう経営改革の先陣を切るべく決意で新年を迎えました。そして総会で、「二〇〇四年は紙管業界の改革元年だった」と振り返る勝ち組達の姿を夢見ております。

皆様 新年おめでとうございます。

本年も相変わります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年当社は創立八十周年を迎えました。

パッケージ形態がドラスティックに変わって行く昨今におきまして、汎用・最先端に関係なく製品を巻き取ったり、容器として使われたりする用途が変わらず存在している事にある種の感動を覚える次第です。

この事は長い歴史において如何に紙管が産業界に必要な包装材料であるという事を改めて認識できます。

僅かとはいえ日本経済の発展に貢献してきた事実として同業の皆様共々胸を張ってよいのではないのでしょうか。

さて、昨年はイラク戦争によって世界が政治・経済ともにデリケートな緊張にさらされました。

今年も世界的な動きの中で経済環境も日々刻々と変化していく事でしょう。

特にボーダレスな低価格商品の流入によって既存業界は価格競争力を失い、中国・ASEAN等への海外生産移管を加速させています。

しかしその一方では新製品開発がどんななされ、日本の製造業のあるべき姿を必死で模索しています。我々紙管業界も現状に甘んずることなく各々のコアコンピタンスを明確にしてニーズを発掘し積極的

に製品開発を行うことが肝要ではないかと考えています。

しかしながら、顧客の低コスト要求と原材料の高騰という厳しい経済環境はこういった動きにブレーキをかけ、我々を悩ませる大きな要因になっています。

市場経済という考え方をすればもつと違う考え方でのこのような状況に対応していく必要があります。

ニッチな業界である事を前向きに捉え、まだまだチャンスは残されているといった意識を持つことで明るい将来を見据えていきたいものです。



田中紙管株式会社 田中 真司

「次世代のリーダーに聞きました、紙管業界の将来展望」という私には大変重たいお題目を頂き、ネ

タ探しのためにインターネットで紙管メーカーのホームページのネットサーフィンをしていて感じたこと

ですが、私がインターネットを始めた頃は紙管をキーワードに検索をかけても数件しかヒットしなかつ

た件数が、今や数十万件に膨れ上がっていて（ロボット検索エンジンの件数なので重複ページがあると思

います）世の中のITの勢いを今更ながらに感じました。各社いろいろなHPを作成し、自社の特徴や製品

をアピールしており、紙管の機能、納期、企画力など多種多様で活力にあふれていることに感心しました。

前置きが長くなりましたが、経営戦略のセオリーとしては、新規市場開拓、新商品の開発ということになるのですが、紙管という成熟商品でそれを実現するのはそう簡単ではないと思います。

何か発想の転換が必要ではないでしょうか。ヒントとしては個人需要の掘り起こし、従来の紙管とは違う紙管が主役になるような用途の使用法の開拓などが考えられます。

また、各企業での活動は当然として、紙管業界全体で取り組む課題もあると思います。

例えば環境問題が取りざたされている中、紙管を使用していないISO14000取得企業もしくは

団体に対して紙管業界として紙製品の環境のやさしさをアピールしたりするというのはどうでしょうか。

今回のインターネット検索で見たのですが、環境をアピールする意味で紙管を使用せずに樹脂管を使用するという広告を掲載しているメーカーもあるようです。

紙管の環境に対する優位性を業界が一丸となってPRしていくことが今後必要ではないのでしょうか。

その前提としては使用後の紙管処理のネットワークなどを今後の課題として検討することも重要だと思います。

まとまりのない内容になってしまいましたが、厳しい情勢の中、少し余裕を持って遊び心も忘れないようにしていきたいと思っています。

1. 紙管業界の現状について

我々、紙管業界に身を置く一員として、考えさせられることが多々あるのではないだろうか？

自由競争という名の下で、需要家の要望・要求を満たすことが 我々の使命（生き残る道）と勘違いをしていないだろうか？

安定供給・低価格は当たり前、紙が主原料と分かりつつも高品質化への要望（要求）を満たしては来たが、正当な価格に反映させていないのが実情ではないか？

需要家の海外進出による日本の空洞化現象で、更なる価格競争の激化（己の首を自ら締めつけて行く）が紙管業界悪化の現状と言えるのではないか？

2. 将来の展望について

製品の値下げ基調・原紙価格上昇の現況下においては、紙管業が今後まだまだ段ボールケースと紙管を比較した場合に、段ボールケースに対する認識と紙管に対するそれが違っていると考えるのは、私だけだろうか？

万が一、段ボールケースが納期に間に合わなくても、需要家の機械を停止するという問題は発生しないが、紙管が無いと機械が停止

大和川紙工株式会社 春山 礼孝

するという問題の重要性を、理解して頂けるような努力が必要と思われる。

我々業界の地位の低さを是正しなければならぬし、これからまだまだ浮上してくると思われるコアレスや樹脂管への移行に注意が必要ではないかと思われる。

また、業界同士の交流による物流経費等の削減・使用済み紙管のリサイクルシステムの共同開発等にも目を向けて行かざるを得ないのではないだろうか？



NIPPON DAISHOWA PAPERBOARD

日本大昭和板紙株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1番3号

TEL:03-3242-7311 FAX:03-3242-7312

■ 生産会社

日本大昭和板紙東北

日本大昭和板紙関東

日本大昭和板紙吉永

日本大昭和板紙西日本

大和板紙株式会社

代表取締役社長
北村 光雄

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5-32

TEL 0729-71-1445 FAX 0729-71-1449

中芯原紙、紙管原紙
美粧段ボールケース

株式会社 岡山製紙

取締役社長 佐藤 勇

〒700-0845 岡山市浜野1-4-34

TEL. (086) 262-8750

FAX. (086) 264-4943

HAYASHIBARA GROUP

高性能紙管用接着剤

HMノールCK-551 ■ 寸法安定性良好

HMノールCK-661 ■ 耐圧強度良好

完全水性紙管すべり剤

スライダーKS ■ 漏れ跡無し

紙管用接着・すべり剤製造販売



株式会社 森川商店

代表取締役 森川 敬介

【本社】京都市下京区堀川五条上ル
TEL: 075-341-8121
FAX: 075-341-8143

【テクノセンター】草津市馬場町字岩川原1200-39
TEL: 077-516-2221
FAX: 077-563-8894

セキスイエスダイン株式会社

環境に優しい 紙管用接着剤



大きく育てよう...市場に学び、可能性にチャレンジ

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-2-9(船場フジビル)
Tel:06(6261)9783 Fax:06(6261)0815

お正月を迎え神社に初詣に行かれた方が、多数居られた事と思います。

世の中には、仏教、キリスト教、イスラム教等の多くの宗教が数多くあると思いますが、我々が詣でる神社は、私の記憶では神社とは申しません。(辞書を見てもありません)

新渡戸稲造の「武士道」の第二章武士道の淵源には、神社に詣でる時に、「鏡の輝く面に自己の像を映れるを見るであらう。礼拝の行為は、汝自身を知れ」云々と書かれています。

前述の宗教には、夫々、経典、聖書、コーランと言うようなマニュアル的なものがあります。

それが宗教戦争の遠因にもなっているような気がします。

マニュアルを否定する心算(つもり)はありませんが、自己の像を映す事が全ての基本であるような気がします。

私事ですが、学生時代の恩師から「解らない事があれば、何処で何を調べれば解るか、誰に聞けば良いか」を学ぶ処が大学だと言われた事を思い出します。

先日、「地球環境と日本外交」と言うお話を聞く機会がありました。

環境汚染の越境現象が顕著になり環境問題が国際化し、問題が大きくなりつつある事から、日本の進んでいる環境技術を国際貢献の切り札として、外交を展開して行く事の重要性等、なるほどと思うお話しでした。

質疑応答の時間になり、明石の老歯科医さんから「我々の子供の時は物のない時で、

勿体ないと良く言われて育てられ物を大切に

にする事が身についていました。しかし、現在は、そのような事があまり言われなくなって無駄にする事が多くなって環境汚染の大きな原因になっているのではないかと子供の時から物を大切にしようと言う教育をするべきでないか。」との意見が出て、全く同感でした。

企業にとって、それを環境問題のみならず改善をはじめ全ての合理化の基本にして進めれば、大きな事から小さな事までの効果期待出来るのではないのでしょうか。

最近、暗黙知と言う言葉を耳にします。起源は良く知りませんがコンピュータのプログラムを創る時に使う言葉のようですが、それに対して形式知と言うものもあるようです。

何となく前者はアナログ的、後者はデジタル的であるような気がします。

言い換えれば、経験を積む事によって得られる直感的な結果とマニュアルから得られる答えと勝手に想像しています。

暗黙知をデジタル化すると言う言葉になると何が何だか判らなくなってしまう。

北海道の地震による大型燃料タンクの火災事故、ブリジストン社の工場火災事故等は、暗黙知の問題とされています。

動物の危機察知の仕組みなどは、その最たるものではないでしょうか。

経営管理や機器のメンテナンスなどに、マニュアルだけではなく、この暗黙知を入れていく事によってより安全な企業となるのではないのでしょうか。

技術開発委員会

西日本紙管株式会社
代表取締役 下畦 正明

当技術開発委員会の活動につきましては日頃よりご支援ご協力を賜り、大変有難うございます。

当委員会では、年一回の研修会が最も大きな活動テーマとなっております。

毎年十月に開催され、ここ数年はITに関するテーマ、ISOに関するテーマ、昨年はトヨタ生産方式について講演と、どちらかという経営、生産管理、情報化といった分野のテーマを選んで開催してきました。

今年の研修会のテーマをこれから考えていくことになりましたが、皆様のご意見や興味を持たれている分野をお聞かせ頂いて、実のあるかつ有益な研修会にしていきたいと存じますので、宜しくお願いいたします。

また、今後原材料の古紙の需給問題が予想されますが、紙管古紙リサイクルへの関心が高くなる事が予想されますので、当委員会でも取り組みテーマを考えていきたいと考えています。

ご意見などありましたら
(shitaune@lime.ocn.ne.jp) までお願いいたします。

総務委員会

三協紙業株式会社
代表取締役 横田 靖啓

明けましておめでとうございます。

総務委員会委員長として新年のご挨拶を申し上げます。

総務委員会の各種事業につきましては、いつも何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

げます。

当委員会が年間事業として実施しておりますのは、ここ数年、紙管製品需要予測調査、紙管業界景気動向調査そして労働条件調査の三つを主として行っております。

紙管製品需要予測調査は、二年前から始めたのですが、紙管製品の用途、品種等を勘案して二十数社を抽出し実施しており、その年の需要予測についてある程度業界の流れが把握できているのではないかと思います。

次いで業界の景気動向調査については、毎年七月に行っていますが、四月～六月三ヶ月間の前年との比較とか、九月以降の景気動向について全組合員を対象にアンケートを実施しています。

労働条件調査については、毎年十二月に冬の一時金の時期にあわせて、その年の昇給と夏、冬の一時金について調査を行っています。

これらはいずれも、調査結果がまとまり次第組合員全員に報告いたしており、それぞれお役に立っているものと思います。

ただ、このような調査というものは、調査数が多ければ多いほど業界としての正確な実態を把握することが出来るわけですので、いつも同じお願いで恐縮ですが、一社でも多くの回収が出来ますようご協力のほどをこの機会をお借りして重ねてお願い申し上げます。

なお、その他当委員会に対しご要望がございましたら遠慮なくお申し出下さい。出来る限りご期待に添うよう努力したいと思っております。

最後になりましたが、今年一年が組合員各位にとって良き年になることを心からお祈り申し上げます。

中国の印刷、紙関連業者の情報を調べるには「中国印刷市場」というサイトが便利です。

業者の会社名、住所、連絡方法及び取扱商品が簡単に検索出来ます。

試しに中国各地の紙管関連会社の簡単な統計を取ってみました。

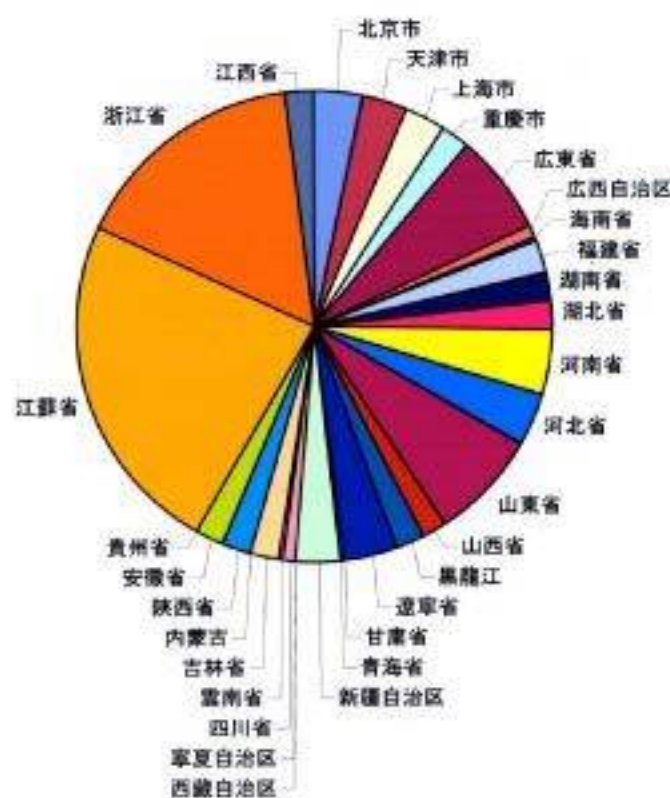
実におどろく事に中国全土に465社もの紙管メーカー又は取扱業者が存在する事がわかりました。

我々日本の紙管メーカーとして脅威もあり、紙管のニーズの広さに改めて驚きました。



紙管関係会社・全体との割合(%)

■北京市
■天津市
□上海市
□重慶市
■広東省
■広西自治区
■海南省
□福建省
■湖南省
■湖北省
■河南省
■河北省
■山東省
■山西省
■黒龍江省
■遼寧省
■遼東省
■甘肅省
■青海省
□新疆自治区
□西藏自治区
□寧夏自治区
□四川省
■雲南省
□吉林省
■内モンゴル自治区
■陝西省
■安徽省
■貴州省
■江蘇省
■浙江省
■江西省



	紙製品関係 の会社数	紙管関係 の会社数	紙管関係会社・ 全体との割合(%)
北京市	457	15	3.2
天津市	486	15	3.2
上海市	810	13	2.7
重慶市	185	9	1.9
広東省	3,701	32	6.8
広西自治区	299	5	1.0
海南省	21	1	0.2
福建省	1,128	10	2.1
湖南省	361	10	2.1
湖北省	283	9	1.9
河南省	1,087	20	4.3
河北省	871	17	3.6
山東省	1,160	35	7.5
山西省	354	7	1.5
黒龍江省	282	10	2.1
遼寧省	757	17	3.6
遼東省	171	1	0.2
甘肅省	8	0	0
青海省	73	14	3.0
新疆自治区	21	0	0
西藏自治区	21	0	0
寧夏自治区	21	0	0
四川省	343	4	0.8
雲南省	247	1	0.2
吉林省	236	9	1.9
内モンゴル自治区	103	0	0
陝西省	1,038	9	1.9
安徽省	446	10	2.1
貴州省	104	0	0
江蘇省	1,706	109	23.4
浙江省	2,033	74	15.9
江西省	263	9	1.9
合計	19,055	465	

福山製紙株式会社

代表取締役社長
伊藤 晃

〒532-0031 大阪市淀川区加島2-2-1
TEL.06-6301-2131 FAX.06-6301-2919

包装と物流の新しい可能性を探る



本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
梅田阪神第一ビルディング (06)6345-2371
ホームページ <http://www.rengo.co.jp/>

地球全土に突き刺さる

何百万本もの紙管に夢を乗せて

地球規模の環境問題として砂漠化対策が話題になっている。

九十四年国連の砂漠化防止条約締結を受けて、ナイロビ・サウジアラビア・シリアをはじめとする地球上の全砂漠地帯の開発が活発になる中、三協紙業株式会社では、かねてより早稲田大学と極秘裏に進めていた「中国砂漠緑化プロジェクト」が、この度本格化のステージに至ったことを受け本誌上公開するに至った。

現在、甘肅省蘭州から車で5時間のテングリ砂漠やクブチ砂漠で実験を進めており、その成果が世界から注目されている。また国内でも宇都宮大学森林科学研究室などから「前例のない画期的な発想」と海外でのマーケットの大きさを評価いただいている。

当然、生分解紙管であり、その分解速度をプライ数と接着技術によって自在にコントロールしつつ、スパイラルの特徴である連続生産性を活かす事によって生まれた完全環境対応型新製品です。

材料は牛糞をベースにした特殊紙で、根をメートル単位で地中深くまで伸ばすための特殊な形状工夫がなされています。

《お問合せ先》

三協紙業株式会社

企画開発部 佐方 将義

国土交通省向け

特殊水溶紙管ミクスマシ

従来、台風や大雨の時期の河川では“増水”と“流量”を如何にすばやく容易に計測するかが問題となっていました。この度特殊水溶紙管を提案し採用いただけた事により、国土交通省職員が台風の近づく中、合羽を着て計測作業する姿がまったく見えなくなりました。

水溶紙管自体はかねてよりトイレットペーパー芯などで商品化されていたものの、水溶速度が遅いなどの理由でこの用途としては使えません。

受注時期に季節変動がある上、数秒間滞れるだけで断紙する紙での製筒歩留向上に大変な苦勞を強いられましたが、現在は安定受注に至っております。

《お問合せ先》

三協紙業株式会社

東京支店 菅原 政己

青年会議所会頭に

米谷啓和理事

明日を担うリーダーとしての自覚をもって、時代と地球をまっすぐ見つめています。



社団法人日本青年会議所（J.C.）の二〇

〇四年度第五十三代会頭に、当組合理事の米谷啓和氏（米谷紙管製造株式会社 代表取締役社長）が就任されました。

一月二十五日、新年記念式典（京都国際

会館メインホール）において、氏は、自身が阪神淡路大震災やその後の復興支援活動等を契機として、スローソサエティの重要性を考えるに至り、われわれの社会が、「スロー」に対比される「ファースト」の社会で、時間や経済効率ばかりを追い求めてきたために、失ってきたものが如何に多かったかということを語り、そして「スロー」とは単に「ゆっくり」ということではなく、自然とのつながり、人とのつながり、それらと共生し、調和をとるための基準となる新しい「つながり」を持つことが大切

で、そのキーワードが「スロー」であると述べました。そして、J.C.は、739LOMのネットワークを生かし、各地域でスローソサエティを実現するよう、協働運動の展開を図ること、そして各地でできた自然との共生と調和ができる「小さな環」が連携するよう国家青年会議所としての役割を果たしていくことを発表しました。

日本J.C.の会頭として、今後のご活躍を祈念致します。

氏は、平成十二年当組合理事に就任、現在理事会でIT推進委員会副委員長として活躍されています。



私は京都の町中をぶらぶらするのが好きだ。幼い頃遊んだ路地裏とは随分替わっていてもいるが、今なりに面白い。

素うどんが美味しい馴染みの大鶴さんの奥の坪庭には、ながめるには幾分成長しすぎた台杉が鎮座している。

売扇庵さんの今年の千支の飾り扇はモダンで、お手頃だ。

悉皆屋（着物のお誂えの橋渡しをする人）さんの横から通り庭をくぐるように続く隙間のむこうになにやら新しいお店が出来た様だ。・・・とんでもないディスプレイだ。・・・が新しい。

このところ町屋風家屋の人気の高い。きつと今の子達にとっては、一種のヴィンテージモノ感覚なのであろう。価値のわかるオトナの仲間入りをするお洒落な手段の一つだ。

最近、その町屋の代表格、格調と風情が飛び切りの料理旅館の隣に高層マンションが建った。もちろん建つ前も建つたあとも賛否両論飛び交っている。だが、こんなことで挫けていては老舗の看板が泣くというものである。今こそ町衆の知恵を出さねばなるまい。何百年も困難を飲み込み、時代に対応してきたはずである。

隣のマンションまで価値が上がるような粋な手段で太刀打ちしてほしい。

私が京都の町を好きなのはきつとこういうところだ。

出格子の奥でひそひそと伝統を伝く知識人ではなく、若者を歓迎し、倍のエネルギーで送り出してやる「京の町衆」の心意気が好きなのだ。こんな意気込みが軒を連ねる通りは、ニット帽の若者のみならず大人も楽しい。

昨年十一月に新工場に移り、モノ作りのノウハウを集結させるべくシステムを構築して

いる。滑り出しはまず好調だ。

しかし、本社としての看板は町中に残すことにした。それは、京都で百年の永い間商いをさせて貰っている責任感であろうか。

通りかかる人が角を曲がってみたくなる風景、軒をくぐってみたくなる技の数々。やはり「人」が集まらなくては面白くない。ご近所さんと一緒になって、多くの人が目当てに来てくれる通りを次の時代に繋ぎたいのだ。

この春にはこんな「想い」の本社社屋がリニューアルする。もちろん創業当時の骨組みもそのままの「町屋風」だ。

いつもこの町のエネルギーの一部で有り続けるために、考える・創る・発信できる「今の町屋」を目指している。

そしてこの「京の紙管屋職人」の住処に何度も足を運んで頂ける私たちが在りたいと思

●組合ホームページ ● <http://www.mydome.jp/Com/Shikan/>

平成15年度第38回通常総会予定

平成16年5月13日（木）

今回は東部地区が担当です詳細は後日ご案内致しますが、5月13日はぜひご出席下さい

紙管用接着剤

コニシ株式会社 代理店

株式会社 旭 栄

大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

特許出願中

新無可塑剤型
紙管用接着剤
A-560シリーズ



アイカ工業株式会社

東京本社 化成品カンパニー営業部

東京都練馬区豊玉北6-5-15 アイカ東京ビル
☎03-5912-2774



紙は時代のメッセージー。

富山製紙株式会社

代表取締役社長 寺崎 敏治

本社工場/富山市下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498

環境に配慮した

無可塑剤型

紙管用接着剤

ボンドCNシリーズ

ボンドCN140 ボンドCN150

コニシ株式会社 ボンド事業本部

本 部 / TEL.06-6228-2951
東京支店 / TEL.03-5259-5734



昭和高分子の
紙管用接着剤

ポリゾール



昭和高分子株式会社

取締役社長 山村敏夫

本 社 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-20
電話 03-3293-8844 (代表)

支 店 大阪・名古屋・仙台・福岡
富土・高松
支 店 伊勢崎・高崎・竜野・大阪